



議会だより

12月定例会号

第3、4回臨時会合併号

平成27年1月30日発行

No.126

こうみ

こんなことが決まりました
一般質問

町議会行政視察レポート
常任委員会からの要望
臨時会・編集後記

2

4

10

12

14

新春の陽光に輝く八ヶ岳

きかせて あなたたちの夢

あなたたちの未来に寄り添うまちに

こんなことが決まりました

26年度 一般会計補正予算(第4号)

全員賛成で可決

1,738万円を追加補正 総額39億1,490万円

【歳出の主なもの】

●小海トンネル横屋外時計設置工事の新規計上	110万円
●町民生活応援事業(Pネット券配布)の新規計上	475万円
●園児増による代替保育士賃金の追加計上	329万円
●新規就農者増による青年就農給付金事業の追加計上	375万円
●松原湖ワカサギふ化施設補助金の新規計上	100万円
●除雪用タイヤローダー購入費の新規計上	346万円
●卒道法面崩落防止工事事業の新規計上	540万円
●旧北牧小学校体育館修繕工事設計委託料の追加計上	300万円
●スケートセンター冷凍機エンジン修繕費の追加計上	130万円

【財源の主なもの】

●町税	1,086万円
●分担金及び負担金	261万円
●県支出金	691万円



ワカサギ釣りにぎわう松原湖

26年度 特別会計補正予算

全員賛成で可決

国民健康保険事業特別会計	1,184万円追加補正	総額 5億4,964万円
介護保険事業特別会計	1,140万円追加補正	総額 6億5,173万円
後期高齢者医療特別会計	39万円追加補正	総額 6,899万円
農業集落排水特別会計	183万円減額補正	総額 5,127万円
水道事業会計(収益的支出)	432万円追加補正	総額 9,314万円

平成26年小海町議会第4回定例会が12月4日から17日まで14日間の会期で開催されました。条例案6件、補正予算案6件、その他事件2件、請願1件、陳情4件、発議4件の合計23件で審議が行われ、陳情1件が継続審査となり、その他の案件は可決されました。一般質問は、6名の議員により行われ、町の考えをいただきました。

12月議会 第4回定例会で

条例・規約

◆ 佐久圏域水道水質検査協議会から平成27年3月31日付けで小諸市外二市御牧ヶ原水道組合が脱退するのに伴い、構成団体の改正、名称等の変更を行うものです。

全員賛成で可決

◆ 特別職の職員で非常勤の者の内、年額及び月額で報酬を払っている者について、審議会等に出席した際の報酬の額を他の委員と統一するものです。
小海町鳥獣被害対策実施隊を設置し、報酬の額を年額8千円とするものです。

全員賛成で可決

◆ 出産育児一時金の内、産科医療補償制度の掛金が1万4千円減額されますが、一時金の総額42万円を維持するため、1万4千円を加算するものです。

全員賛成で可決

◆ 子ども・子育て支援法の規定により町長が保育を必要とする子どもとして判定する基準を就労時間、妊娠、出産等の保護者の状態により定めるも

のです。

全員賛成で可決

◆ 事業者等に適切な特定教育・保育・特定地域型保育の提供や、適切な環境が等しく確保されていることを目指すこと、特定教育、保育施設等の運営に関する基準について必要な事項を定めるものです。

全員賛成で可決

◆ 児童福祉法の規定により町長が家庭的保育事業の運営に関する設備基準等最低基準を定めるものです。

全員賛成で可決

◆ 児童福祉法の規定により町長が放課後及び学校休校日に「放課後児童クラブ」等を行い、児童を支援し、放課後児童健全育成事業の一般原則、最低基準を定めるものです。

全員賛成で可決

その他事件

◆ 平成27年度から施行される第5次小海町長期振興計画後期5カ年計画を策定するものです。

賛成多数で可決

請願・陳情等

● 2015年NPT再検討会議に向けて、日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出に関する要請(請願)について
全員賛成で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

● 最低価格制限価格の設定に関する陳情書について
全員賛成で継続審査となりました。

● 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書について
全員賛成で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

● 介護従事者の処遇改善を求める陳情書について
全員賛成で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

● 地域振興・地域林業の確立に向けた「山村振興法」の延長と施策拡充に係る要請について
全員賛成で採択し、衆参両院議長、関係大臣、林野庁長官に意見書を提出しました。

第4回定例会の審議中賛成多数で可決された議案等

(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名) (議案名等)	有坂辰六	篠原伸男	篠原義從	篠原憲雄	新津孝徳	篠原恒一	鷹野雄之助	的埜美香子	井出 薫	土橋勝一	佐藤二三雄	鷹野弥洲年
第5次小海町長期振興計画後期計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議長職

問 1 なぜ産科・婦人科がないのか 2 保育所に看護師の配置を

答 町長 1 地域の要望として対応します
2 今後の研究材料とします

問 少子高齢社会の中で高齢者への医療、介護需要には応えています。将来の南佐久の人口対策に対して、医療分野へのニーズ分析がされていないと思います。佐久市には

町長 医療そのものが医療センターの方に大きく変革したということはないかと思いますが、それをカバーするのが本院であり、小海分院だと思っています。

問 佐久総合病院の整備計画の中の「地域ニーズの分析」を読んでも思われませんか。



篠原 伸男議員

町長 佐久総合病院については佐久市と南佐久の支援とい

医療センター・浅間病院に産科・婦人科があるが、総合病院である佐久病院本院になぜ産科・婦人科がないのですか。佐久市、南佐久でこの改修に財政支援をしますが、そのことに異を唱えるつもりはないが、人口10万人の佐久市と人口2万6千人の南佐久の支援が共に3億5千万円であるがなぜか？従来通り人口割を取り入れた理にあった支援でなければならぬと思うが、町長のお考えを。



改修計画の佐久病院

篠原議員 小海分院で設ける事ができなかった産科・婦人科を南佐久に設置する最後のチャンスだと思いたすので、強い決意で臨んで下さい。

町長 町村会では12月に文書で要請し、1月に話し合いを持つので地域の強い要望として行きたいと考えています。

うことで、このように決まりました。
南佐久町村会で強く要求すべきです。
問 産科・婦人科は南佐久に欠かす事の出来ない診療科です。財政支援は産科・婦人科の設置が絶対条件として町村会で要求すべきです。



看護師さんがいたら安心だー

篠原議員 産科・婦人科の設置、軽い症状には対応できる保育の実践で子を産み、子を育て易い町づくり、更なるご尽力を要望いたします。

町長 看護師の確保等難しい面もあり、今後、研究させて頂きます。

問 勤務時間中にわが子が体調不良で呼び出されては保護者は大変です。そこで保育所に看護師を配置し、平素は保育士と同様に対応し、必要が生じた時は診たり、病院に連れて行って保護者の負担を軽くし、子育てし易く、働き易い保育所づくりはいかがか。

問 1 小中学校ネット依存の現状と取り組みは 2 ごみ処分場の現状と将来構想は

答 教育長 1 学校家庭生徒の自覚、連携、指導、啓発を
町民課長 2 新佐久市クリーンセンターに委託処理

教育長 学校での具体的な取り組みにつきましては、中学校で春に実施しましたアンケートを元に生徒、PTA、学校教員、保健師等によりパネルディスカッションを開き、ネットやゲーム等への没頭、トラブルの危険性、そして中学生の健康について、一人一人が考える場を作って適正使用の啓発に努めておるところです。いずれにいたしましても、児童生徒の日常生活や、

問 インターネット依存の疑いが強い、小中学校での現状と取り組みは。



篠原 憲雄議員

健康、学習活動に影響が出ないように、学校での指導啓発、家庭での信頼あるルール作り、生徒の自覚等、それぞれが役割を担って行動し、今後も学校、家庭と連携してこの問題に対応指導してまいりたいと考えております。



問 ごみ処分場の現状と、将来構想について

町民課長 草刈久保最終処分場は、昭和62年の使用開始から27年あまり経過し、処理能力の限界まで、あと3年から4年と予想されます。佐久市のパラダ北に建設予定の新クリーンセンターは、最新の状況では平成31年4月稼働の情報のため、新クリーンセンター稼働まで、町処分場がもたない事が想定されますのでその間、29年度あたりから、佐久市の民間業者等に委託処理をし、新佐久市クリーンセンター稼働後スムーズに移行できるように計画を考えていきます。

問 27年度職員追加採用募集は新卒者対象募集なのか。職種によっては職員の年齢構成や、即戦力となる社会経験のある幅広い採用も対象にすべきではないか。

町長 基本的には、試験採用で行い、方法は町村会の実施

する町村の職員の統一試験、一次試験では、教養試験、事務適正試験、職場の適応性の検査を行い、二次試験では、小論文と面接を実施します。年齢的なことですが、役場職員の年齢構成を考慮して、事務系では30歳までの年齢制限を今年度におきましては来年度に向けて設けたところで

専門職、特に保健師につきましては、25年度は35歳以下を、26年度は45歳以下として、職員の確保を図るように努力して来たところです。

その他、衛生センター跡地活用についての質問をしました。



埋め立てが進む草刈久保最終処分場

問 高校生の通学費の補助はいつからか

答 町長 制度化について議論を加えて
来年度に向けて前向きに検討して参りたい

産業建設課長 当初133棟見込みのところ115棟になる見込みです。支払い状況は12月12日までに27棟分、26日には12月17日までの実績報告書に基づいて支払い、更に未完成の方は来年1月から3月末までに月1、2回のペースで支払いをして行きたい。3月になってまだ出来ないという時には相談に応じながら対応してまいりたい。

問 2月の大雪により大きな被害となった農業用パイプハウ再建の進捗状況は。



議員 美香子 的埜

問 この再建事業の本来の目的である再建、農業の持続という目的は果たしたのか。事業内容が農家にとって使いづらくなかったか。実績報告ではなく概算請求で支払う自治体もある。18棟の建て直しが出来なかった農家でまとまった額の先払いが大変だった方もいるのではないか。

産業建設課長 佐久穂町と小諸市は大きい農家もあり、一旦立て替えて支払うのが困難という中で請求書でも対応という事を途中から認められたとの事です。小海町ではそう

いった相談がなかった中で領収書でお願いしますと言ってきましたが、請求書でと相談が来た場合は対応してまいりたい。

問 第5次長期振興計画の中で通学補助の充実、拡大が施策内容に盛り込まれ、9月の全員協議会の中で「高校生の通学費の事です。」との私の質問に対し、「高校生の通学費に対して何らかの補助を考えた。」と町長答えられました。が、いつからどのような形でやる考えか。

町長 新年度の予算に計上するかどうか結論は少し無理な段階ですが、十分制度化について議論を加えて来年度に向けて前向きに検討してまいりたい。

問 7月に実施された子育て世帯アンケートの結果から経済的支援を求める声が多い事が示された。子育てにお金がかかる、働きながら安心して子どもを預けられる環境

を整えるには思い切って保育料を無料化にすることでは。

町長 保育制度が変わっていく中で保護者の皆さんに今以上のご負担を強いることはしない。

延長保育料はなくし、負担軽減になります。もう少し無料化についてはお時間を頂きたいと思っています。



JR小海駅から町営バスで通学する小海高校生

問 国保税・介護保険料払いたくても 払えない人が増えてくる

答 町長 国保の皆さん、非常に厳しいということは重々承知しているところでございます



井出 薫議員

問 情報公開、町のホームページを見る機会は町内だけでなく全国どこでも見られるようになって来た。町のホームページをどのように考えているか。

町長 何回か見直しをしてきた。より見やすく、より早く簡単にホームページの中に入っている。そして何をアピールしていくのかということを中心に、各課で素早い対応を心がけているところです。

問 この一般質問も音声で可能になる。オフトークがなくなるか。

なつて久しいわけでありまして、早く、早急に実現していただきたい。ホームページで一番先に子宮頸がん接種のお知らせがある。

これは2013年6月18日に、次にふるさと納税、2013年4月11日に入れたものです。佐久穂町のは12月5日付けで第1次佐久穂町行財政改革大綱策定に伴う住民説明会の結果についてが、そして12月3日、2日とお知らせが乗っている。何が違うか、行政の皆さんは毎日仕事をしているのにそれを知らせていない。町はこういうことではない。

んばっているということをもちと住民の皆さんに知らせていくというような取り組みが必要だと思うが。

町長 全国に発信することも大事だが、まずは町民にということでございます。良いところは取り入れながら研究をさせて頂きたい。



現在の小海町ホームページ

問 福祉医療費の窓口無料化は県の動向を見ながらと答えられたが

町長 窓口の無料化をやることによって良い部分と、なぜ県はそれを実施しないかという点も含めて今後総合的に判断をしてみたいと思っています。

問 国保も、介護保険も事業量の増によって確実に保険料が上がってくると。町の新たな努力が必要ではないか

町長 国保税は近隣町村に比較して飛びぬけて高くはないという認識です。介護保険料についてはやむをえないと思っています。

井出議員 実際に税金を払いたくても払えないという人が数多く出てきている。近隣町村ということではなく、実際住民の皆さんの懐から見てもどうかという目線を持っていたきたい。



問 土木、建築等専門職のいない分野の対応について

答 産業建設課長 設計業務は全てコンサルタント業者に委託せざるを得ない

産業建設課長 専門技術者、設計士が産業建設課の中にはいないので特に設計業務等については全てコンサルタント業者に委託していますが、業者を決めるに当たっては指名競争、見積り入札等で決定しています。

問 土木橋梁や大規模建築工事は小さな自治体にとつては大きな負担となっています。まず最初にこれらの設計から工事単価までどのように決めているのかお聞きしたいと思います。



新津 孝徳議員

新津議員 大きな工事では少額の研究やチェックで町のためになる金額が発生して来るので職員の皆さんの努力をお願いします。

産業建設課長 監理監督する中では難しい面もありますが更に勉強したり研究、研修会等を重ねチェックしてまいります。

問 町民の見方とはかけ離れた金額もあるのでそういった業者であっても町の意見を述べて頂きたいと思っています。

問 最後に町外への発信について質問します。先日総務産業常任委員会でも茂来山に登ってきました。実際に自分の足で確認し問題点について協議

総務課長 返礼品で競争する考えはありませんが特産品の販売が増えればと思うと同時に、鞍掛豆の消費拡大と商品開発で精一杯努力をしております。

問 次にふるさと納税と町の特産品開発について質問します。小海町を紹介するパンフレットを見ても特産品が少量しか載っていません。都会や県外の人達は町の宣伝を見て小海町を理解するしかありません。小さな自治体にとつて現在の情勢の中でふるさと納税は非常に有難い存在です。返礼品に使用している特産品開発にも鞍掛豆の商品化に取り組んでいる今、もう一度力を入れるべきだと思います。六次産業化に努力している皆さんと共に頑張りたいと思うが答弁をお願いします。

産業建設課長 小海駅等での観光地の分かりやすい案内の整備に取り組みます。

しました。茂来山の良さ、素晴らしさをもっと多くの世の人々に知って頂きたい。そしてこの自然豊かな地を訪れて頂き都会の人々のオアシスとしてもらえる様ホームページを最大利用してもらいたい。



JR小海駅に設置されている観光案内MAP

問 安全対策に対する町の対応は

答 町長 防犯カメラ設置についてＪＲと協議したい



鷹野 雄之助議員

問 先ず始めに道路安全対策として次の三点を伺います。

私は昨年国道馬流旧高根保育所前登り車線側、鎗掛洞門以南約100mについてガードレールの設置を提案し、関係機関と協議したいとの答弁を頂いておりますが、その後の経過は。

第二点として今年9月に完成した町道大洲除ヶ線大州南側ガケ部分に以前設置されていたフェンスが撤去されたままであるが設置の考えは。

第三点として主要町道未改良区間、一車線改良道路について法面、路肩等に樹木繁茂

からの見通し安全確保と雇用を兼ねた支障木除去事業を行つたらいかがか。以上三点について伺います。

産業建設課長 第一点、ガードレール設置について佐久建設事務所全体から見て早急、積極的に設置する場所がなく、又、歩道が狭くなる問題があり今後安全策としてフェンス側に強固な橋の欄干型の設置を要望します。

第二点、大洲除ヶ線フェンス設置について本当に危険という中で教育委員会、小学校、他の関係者と協議設置に向け

検討します。

町長 第三点について、数年前に雇用を含め、法面等の支障木整備を国庫補助事業で実施しましたが、安全対策上再度実施を検討してまいりたいと思います。

問 次に道路改良時Ｌ型、Ｋ型側溝使用について狭い道路、水路の維持管理等を配慮し極力Ｌ型、Ｋ型側溝を使用したらいかがか。

産業建設課長 常時流水箇所以外はＬ型、Ｋ型側溝を基本的に採用しております。



今年度改良工事が実施された町道大洲除ヶ線

問 次に防犯カメラ設置について伺います。昨年9月一般質問で防犯カメラ設置について近隣町村の状況等調査検討結果は。又、佐久穂町では各駅にＪＲ独自設置をお願いし、設置されたと聞くが、これらを含めた考えを伺いたい。

町民課長 他町村ではケーブルテレビを利用した設置方法で安価であります。当町では高額となり費用対効果の面から当面見送った次第です。

町長 駅設置についてＪＲ単独での設置について今後ＪＲと協議してまいります。



ＪＲ羽黒下駅に設置された防犯カメラ

上伊那郡中川村「燻製工房もみじ」視察報告

的埜 美香子議員

ここ近年、全国的に広がる鳥獣被害に多くの自治体がその対策に頭を抱えています。小海町でもシカの防護柵を町内中張り巡らせ、農作物への被害には一定の効果を上げ、猟友会等による狩猟でも個体数を減らしてきていますが、シカの繁殖力にはなかなか追いつかないのが現状です。

もう一つの問題が、捕った後の処理です。そんな中、ジビエ料理を普及させる取り組みも増えてきています。今回の視察先である上伊那郡中川村「燻製工房もみじ」もその一つで、「もったいない」の発想からご夫婦で自宅の敷地内にプレハブを建て、シカ肉の燻製の事業化したのです。木下重幸さん直美さん共に上伊那猟友会に所属をし、狩猟免許と銃砲所持許可を持ち、鹿猟をして村内の施設で解体作業も手掛けます。家で焼いたり、燻製にしたりして食べていたものを十数年、商品化に向けて研究を重ね、約300万円を投じて自宅を改修し、調理や燻製、乾燥、

包装を一貫して出きる様にし、3月に工房をオープンさせたのです。食肉製造業の許可を得るのに必要な資格を持つ衛生管理者を置かねばならず、その資格を持つ方も見つかりスタートさせた訳ですが、村からの補助もなく、これからの事業が採算に合う事業になっていくのか心配されていました。中川村は国の助成を受け、獣肉解体加工施設を整備しました。伊那では中川村以外でも解体加工施設を多くの自治体が設置しており、その後の商品化までなかなか上手くいかないのが実態の様です。木下さんは既に商品化までしている訳なので、村も本来の目的さえはつきりしていれば、解体から先の支援もしていくのが当然だと思うのですが。

それにしても木下さん夫婦は狩猟から解体、加工まで全ての工程に関わり商品化して販売もしている。素晴らしい事だと思えます。あるものを生かす（自然も知恵も）というのが成功の秘訣の様です。

特産品の開発にも同じ事が言えるのではないかと思います。話は戻りますが、欧米では、特にシカ肉の料理が盛んです。学生の頃、スウェーデンに旅行をした時入ったレストランでメニューの中に普通にトナカイの肉の料理があり、注文をした事を思い出しました。日本でどれだけ普及するかは分かりませんが、命あるものただ殺して捨ててしまったのでは、浮かばれないですよ。鳥獣保護管理の効果的対策、いろいろな角度から進める必要があります。



解体加工施設内で木下さんより説明を受ける

福井県若狭町「有限会社かみなか農楽舎」視察報告

篠原 義從議員

平成26年度の視察研修を11月4日、5日と二日間県内の中川村「燻製工房もみじ」と福井県三方上中郡若狭町「有限会社かみなか農楽舎」に行つてまいりました。私は「有限会社かみなか農楽舎」のレポートを提出させて頂きます。わが小海町は基幹産業である農業が高齢化と後継者不足、担い手不足等々の課題を抱え、農業の先行きが不透明であります。若狭町も同様に農業の衰退に頭を悩ましておりましたが、都市からの若者就農、定住促進に力を入れ、集落を活性化することを目標とする就農定住研修事業法人を10年後、20年後の将来を見据えて町50%、集落30%、民間会社20%を出資し、「有限会社かみなか農楽舎」を設立し、課題克服に成功した町であります。農業生産法人を視察研修することで小海町にとっても何か良いヒントが得られるのではないかと勉強に行つてまいりました。就農研修生は二年間農楽舎で寝食を共にする共同生活をして、地域



古民家を思わせるかみなか農楽舎

の一員となるよう農業（農業技術の取得はもちろんです）だけではなく、農村での暮らし、歴史、文化等、そして地元の方々との交流を深めることも研修の一環として勉強しているそうです。就農研修が終了し、農業経営者として自立する時は住居、田畑、農業機械等々、農業で生活出来るようになるまで農楽舎はじめ、地域の皆さんが指導援助をし、寄り添っていくとのこと。今までに38名の方が卒業し、23名の方が町内で農業経営者または定住者となり、日々努力しているとのこと。



農楽舎職員の方より施設の説明を受ける

ただ小海町と若狭町とは農地に大きな違いがあり（若狭町は田園地帯）一概に同じ手法は取り入れがたいと感じました。しかし地域を活性化するんだという意気込みは十二分に伝わってきました。この事業を発案し、3億円強の予算を使い強いリーダーシップで先頭に立ちこの事業を成功させた町職員（当時課長、現在町長）には頭が下がります。町職員はもとより、私達議員も10年後、20年後の小海町を見据え情熱を失わず、強い志しをもって行動していかなければならないと痛感いたしました。

常任委員会からの要望

総務産業

●効果的で効率的な情報提供の手段であるホームページを有効に活用し、町の観光宣伝等を行うとともに、議会活動、各種審議会内容等を掲載するなど充実を図りたい。

○町長

現在のホームページの内容を再確認し、適宜、更新を行うと共に、この媒体を有効に活用し、町のPRをはじめ、観光宣伝等を行って参ります。

そして、議会活動、各種審議会開催状況、協議内容等の掲載など検討して参ります。



●八峰の湯運営については、利用者にとってわかりやすい丁寧な説明を心がけるとともに、さらなる経費の削減とサービスの向上に努められたい。

○町長

親切、丁寧な接客を行ないお客様に満足してお帰りいただき、また来なくなる様な対応をして参ります。

また、松原湖高原観光交流センター運営委員会で協議をいただき、現在の状況を把握し、分析、サービスの向上と効果的かつ効率的な経営を目指して参ります。そして、住民の福祉と健康増進、観光交流人口の増加、地域活性化、雇用の確保に努めて参ります。

●冬を迎えるにあたり、八峰の湯利用客はもとより、周辺施設利用者の安全確保のため、除雪には万全を期せられたい。

○町長

昨年度の今まで経験したことのない大雪の対応につきましていろいろな教訓が得られました。先にも除雪会議を開催したところです。

八峰の湯の利用者、周辺施設の方々の安全確保のため、八峰の湯、開発公社職員はもとより、産業建設課と協力し、より早い除雪、安全確保に努めて参ります。



(コマツ建機販売ホームページより)

今シーズン新たに導入される除雪用タイヤローダー

● 社会保障制度の負担増、給付減が懸念される中、町の国保会計にあつては、安定した財源の確保に努め、健全な財政運営を図りたい。

○町長

本年度の国保会計は保健給付費が高めに推移しており、年度末には増額補正をお願いする可能性もあります。

また、基金残高もわずかなとなつて来ているため、財源不足も危惧されております。

その際には国民健康保険運営協議会等でご協議をいただき、総合的に判断をさせていただき、対応をして参ります。

● 佐久広域連合の美ノ輪荘をはじめとする施設の建替え計画について、利用者や地域住民に不便を来たさめよう、早急に整備する旨働きかけられたい。

○町長

当初案では第5期計画の中で、建て替え、運営開始の予定であつた美ノ輪荘が現状では第6期最終年度の完成、運営開始については第7期へずれ込んでしまう見込みとなつております。

結果、利用者の皆さんや待機者の皆さんにはご迷惑をお掛けする事になつてしまいますが、これ以上遅れる事がない様に佐久広域連合に対しましても働きかけて参ります。

● 松原湖高原スケートセンターの冷凍機等の施設管理にあたつては、関係者、機関との連携を深め、定期的に点検整備を行い、適正管理に努められたい。

○町長

スケートセンターの機械設備等の保守点検は、定期的かつ営業開始時、営業終了時にはオーバーホールをしっかりと実施し、受託業者と共に責任の所在をはっきりさせ、適正管理に努めて参ります。



● 総合センターの管理は、施設修繕、清掃美化に努め、利用者が快適に利用できるように進められたい。

○町長

総合センターは、築30年以上が経過し、老朽化が進んでおりますが、多目的ホールを中心に幅広く利用されております。

特にホールは代替施設がないことから、常に適正な管理に努め、気持ち良く永くご利用いただけます様維持、管理をしっかりと今後も行つて参ります。

臨時会

第3回平成26年10月29日開催

◆（仮称）北牧学習館改修工事を指名競争入札により株黒澤組が2億260万8千円で落札したのに伴い、建設工事請負契約の締結をするものです。

全員賛成で可決

第4回平成26年11月28日開催

◆本年度の人事院勧告及び小海町特別職報酬審議会の答申に伴い、一般職の職員、町長、副町長、教育長の給与、手当について、平成26年度分を引き上げ、平成27年度分を引き下げるものです。

全員賛成で可決

◆本年度の人事院勧告及び小海町特別職報酬審議会の答申に伴い、町議会議員の手当について、平成26年度分を引き上げるものです。

全員賛成で可決



改修工事が進む（仮称）北牧学習館

◆一般会計補正予算（第3号）

全員賛成で可決

802万円を追加補正

総額 38億9,752万円

主な補正内容は人事院勧告による給与改定、12月14日執行の衆議院議員総選挙に係る経費の追加計上です。

◆特別会計補正予算

全員賛成で可決

介護保険事業特別会計

217万円 減額補正

総額 6億4,033万円

水道事業会計（収益的支出）

112万円 追加補正

総額 8,882万円

編集後記

12月14日投票の総選挙は325議席という巨大与党が再現した。しかし国民の支持がストリートに反映される比例区における自民党の得票率は33%であり、投票率53%からすれば、わずかに17%の国民が支持したに過ぎません。消費税増税、集团的自衛権、秘密保護法、原発再稼働など、これまで多くの国民の声（町議会決議と意見書など）が反映されたのでしょうか。

12月議会最終日、町長の行政報告の後、議会がストップしました。これまでたびたび議論されてきた「わみのやち」の一部を地元松原区で伐採するという大きな動きがあったものを、議会に報告がなく説明を求められたのです。「自然保護と経済の問題であり、町には止める権限はない」と説明され報告をしなかったことは謝罪をした。町民の声を聞き、結果を知らせることは行政の重要な責務であります。（編集委員 井出 薫）

編集責任者 鷹野弥洲年
編集委員長 鷹野雄之助
編集委員 篠原 恒一
編集委員 井出 薫
編集委員 佐藤二三雄